

第36回オープンセミナー

主催：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室
共催：国立大学法人福井大学 産学官連携本部協力会 原子力技術部会

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技术を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取組みを行っています。

～日時・会場～

敦賀市

平成27年 **12月2日** (水) 14:00～16:00

敦賀商工会議所 2F 会議室 (〒914-0063 敦賀市神楽町2丁目1-4 TEL: 0770-22-2611)

福井市

平成27年 **12月3日** (木) 14:00～16:00

福井商工会議所ビル 2F 会議室A (〒918-8580 福井市西木田2丁目8-1 TEL: 0776-36-8111)

～セミナー内容～

◆ 橋梁等の超音波の表面波による断面欠損レベル評価技術

福井大学大学院工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻 講師 鈴木 啓悟

橋梁等の大型構造物完成時の品質管理から供用中の維持管理に至るまで、目視困難な部位の欠陥の可視化手法として、構造物中の内在欠陥および減肉現象について数値解析事例とともに検査技術を紹介いたします。

さらに、現在、福井大学で研究開発している超音波の表面波を利用した技術として、波動伝播時間から狭隘部などの断面欠損レベルを評価する試みを紹介いたします。

◆ 放射線を見える化する技術

原子力機構 原子力科学研究部門 量子ビーム応用研究センター

先端機能材料創製研究ディビジョン 高分子機能材料研究グループ サブリーダー 廣木 章博

放射線治療では、患者への照射に先立って、治療計画の作成、及び線量精度の検証・評価が行われます。この線量の3次元分布を評価するツールとして、ポリマーゲル線量計が注目を集めています。原子力機構では、放射線橋かけ技術を活用したポリマーゲル線量計の開発を進めており、本セミナーでは、新規ポリマーゲル線量計技術と今後の商品展開について紹介いたします。

～お問合せ～

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室

TEL 0770-21-5033

FAX 0770-21-5090

URL <http://jaeasoudan.jp/>